

精華町ふるさと案内人だより

ふるさと発見秋の旅 ♪♪楽しみいろいろ♪♪

案内人 片山弘一(桜が丘)

今回で、とろとろと、6回目のお付き合いになりました。

(※40年も同じ所で井の中の蛙でしたので、何か始めることにして) 秋の旅は、総勢50名で成功裏に無事終えました。今回は、東畑を中心に村の生活の様子について精華町史等を参考にして、地元の方々に色々教えていただきました。「岳峡の文化」の著者の森田高史さん(107歳) また、白土の採掘に親父の下で荒くれ男をかって使っていて、今も現役で農作業も建築も



楽々とこなす前坂金七さん(91歳)、シニアの星(神様)のパワーに圧倒されました。

白土は、^{こうせきせい}洪積世のものでと、トンネル内も案内いただきました。

また、精華町の最高峰(嶽山)を見つけ、地元の方に案内をしていただき挑戦をしました。

(ちょっとしたハイキングコースですが、竹などに侵食され見晴らしが悪い現況です。整備を期待)

精華町史等を見ていると昔の人達の生活の無駄のない智恵が身近になり、感心もさせられました。

(池の鯉など、農業に使って、食べて、とれた小鳥なども臨機にいただくなど)

今回は、短いコースで少し坂道がありましたが、専光寺からけいはんなプラザ、若草山等の眺望はみなさん十分満喫できたと思います。最後に、区長のおはからいで、鈴なりの甘柿をビニール袋などに採らせていただき、少しリュックが重くなりました。(アンコールコースに?)



白土の層・採掘の内部(*案内人のみ)の前坂金七さん

東畑集会所前で篠原会長挨拶

会員のひろば

温故知跡(?)

市原 礎 (光台7丁目)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

昨年のビッグなニュースに纏向遺跡での大形建造物遺構の発見がありました。幾たび目かの卑弥呼・耶馬台国論争が活発になりそうな気配です。文字文献が発見されていないことが最大の原因のようですが考古学ファンには尽きる事のない興味を与えてくれます。



生涯、一つの会社一つの職種に従事することが当然のことであった私共の世代にとって、シルバーの存在は誠にありがたく大いに活用すべきものであると常々思っています。

小生の場合は、遺跡の発掘に参加できたこと、考えてもいない事でしたから、將に第二の人生が始まったという感じです。知「新」にまでは至らずとも、今年も大いに歩き・掘り、かつ勝手に想像をたくましくし、楽しくやっていきたいものと思っています。

皆様にとって、今年もいい年でありますように・・・。